

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院・昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

精神科リエゾン医療の状況調査
1. 研究の対象および研究対象期間 2016年1月1日から2023年6月30日に昭和大学横浜市北部病院・昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院に身体疾患のため入院され、精神科リエゾン医療を受けた患者さん
2. 研究目的・方法 研究目的： 総合病院に身体疾患の治療のため入院された患者さんに、精神疾患や心理的苦痛が生じたときに、精神科医が主治医とともに診療し、サポートを行う体制をリエゾン医療といいます。 現代の社会では、超高齢化のため認知症の患者さんも増え、COVID-19の影響のため医療現場に大きな影響があり、身体疾患とともに精神症状へのケアはより重要となります。 本研究では、COVID-19拡大以前から現在までのリエゾン医療の状況を調査し、疾患の種類や必要とした治療内容の変化の傾向を分析することで、今後のリエゾン医療に必要な課題を明確にすることを目的とします。 研究方法： 診療録(カルテ)から、患者さんの治療にかかわる情報を抽出し、統計分析を行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年6月30日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 以下の患者さんの臨床情報を用います。 性別、年齢、診断名、入院日、退院日、リエゾン介入日数、COVID-19感染の有無、精神症状・診断、放射線検査結果、検体検査結果、生理機能検査結果、薬物療法内容、既往歴、転帰、退院後経過、必要とした社会資源

5．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 精神神経科、昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンターの外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学藤が丘病院および昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 精神神経科（提供元）から昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター 氏名 富岡 大

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター 氏名：富岡 大
住所： 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000